

近年、社会体育の分野で活動するために各種公認指導者の資格を取得しようとする学生が増加しています。本学の体育学部は日本レクリエーション協会の、レクリエーション・インストラクターとレクリエーション・コーディネーター養成講座課程認定校となっています。

現代社会学部生においても、レクリエーション・インストラクターの資格取得希望者は学部所定の資格科目を全て修得し、体育学部と同様の手続き申請をすることで資格を取得することができます。

レクリエーション・インストラクター

(1) レクリエーション・インストラクターとは 余暇やレクリエーションに関する理論と実技の基本的な学習を積み、レクリエーションを「楽しく教える」指導者です。また、地域に根ざしたレクリエーションサービス事業に、主としてボランティアスタッフとして関わります。例えば、ニュースポーツの教室やウォークラリーなどのイベントの運営スタッフとして関わります。

(2) 資格取得の方法 卒業までに(5)「レクリエーション・インストラクター」資格科目一覧表の単位を修得し要件を満たす必要があります。体育学部生のみ3年生から資格申請ができます。(現代社会学部生は、4年生の秋学期に手続きを行って下さい。)

(3) 資格申請の時期

- ①レクリエーション・インストラクター説明会を3月下旬の資格説明会で行います(体育学部生対象)ので、参加して下さい。早期から計画的に履修・修得して下さい。(現代社会学部生は2年生から体育学部科目を履修可)
- ②資格取得希望者は取得希望届を4年生の4月に提出します。
- ③4年生の10月初めに資格申請手続きを行います。詳細は、ALBO で案内します。

(4) 資格登録費 16,000円

(5)「レクリエーション・インストラクター」資格科目一覧表

レクリエーションインストラクター講習科目	必要単位	本学開講科目		単位	開講学年	要件	科目を設置している学部等
レクリエーション理論	2	レ ク リ エ ー シ ョ ン 論		2	1年	修得	体育学部
レクリエーション実技	2	レ ク リ エ ー シ ョ ン 基 礎 実 習		1	1年	修得	
		(注1)	野 外 活 動 実 習 A	2	1年	この中で 1科目修得	
			野 外 活 動 実 習 B	2	2年		
野 外 活 動 実 習 C	2	3年					
現場実習 支援実習	1	①	レ ク リ エ ー シ ョ ン 指 導 演 習	4	2年	①・② いずれか 修得	現代社会学部
		②	教 育 実 習	3・5	4年		日本レク協会
			事 業 参 加	3回	1~4年	(注2)	

(注1) 野外活動実習A・B・Cの科目については、体育学部生以外受講ができないため、現代社会学部生は、個人スポーツA/B ティームスポーツA/B 障害者スポーツA/B フィットネスA/B の8科目の中から2科目2単位履修・修得することで読み替えます。

(注2) ①レクリエーション指導演習、②教育実習・事業参加のどちらかを選択します。②を選択する場合は、「教育実習」と「事業参加」の両方を修得しなければなりません。「事業参加」は、自主的に学外実習に参加する授業です。

「事業参加」に参加するためには「現場実習」事業参加記録カードが必要です。教務課で受け取って下さい。「事業参加」は原則3回参加し「現場実習」事業参加カードに証明印(3回分)を受けたものを各自で作成し、資格申請の際に教務課に提出します。

本学では、事業参加は愛知県レクリエーション協会主催のイベント(レク現場実習)に参加することとしています。同イベントの詳細は、愛知県レクリエーション協会のホームページ「レク・インフォメーション」で確認できます。

(愛知県レクリエーション協会ホームページ <http://rec-aichi.sakura.ne.jp/index.html>)

(6) 履修方法について

- ①資格取得希望者は、体育学部の時間割を確認し教務課窓口でレクリエーション・インストラクター受講届を提出し、履修申請をします。
- ②CUBICS 履修登録で自由に履修登録できませんので注意して下さい。
- ③体育学部科目を履修する場合は、開講学年の上級学年になってから履修して下さい。たとえばレクリエーション論は1年開講なので2年生で履修します。

(7) 再試験 再試験については以下のとおりです。

《対象学年》 4年生

《対象科目》 レクリエーション論

※ 再試験を実施しないことがあります。

《受験制限単位》 再試験については春学期・秋学期あわせて12単位を超えて受験することはできません。

再試験の受験・不受験に関わらず、申し込みをした時点で制限単位(12単位)に含まれます。